



The Newsletter of the All Saints' Choir Alumni Society, Rikkyo University

聖歌隊OB・OG会報

第三号



立教学院諸聖徒礼拝堂聖歌隊
隊長 スコット・ショウ

立教学院諸聖徒礼拝堂聖歌隊OB/OG会の皆様にご挨拶申し上げます。前回総会で皆様にお会いしてから一年も経ったようには思えません。この一年が皆様にとって良いものであったことを願っています。

前年同様、聖歌隊OB/OG会の皆様からのサポートは私が聖歌隊を運営していく上で多大な助力になっています。これまで同様、多くの皆様が年二回の奉唱会に歌いに来て下さいました。皆様方の助力の元、昨年秋に行われたフォーレのレクイエム奉唱はとても忘れがたいものとなりました。ご記憶にあるかと思いますが、その際はレスター大聖堂(Leicester Cathedral, Engalnd)の聖歌隊が来ていました。彼等は二階席からレクイエムを聴き、演奏を高く評価してくれました。

ご存じの通り、この春、聖歌隊は二週間の英国ツアーを行いました。ツアーの詳細はこの会報に後述されているかと思いますが、このツアーの成功はOB/OG会からの金銭的な援助あってこそのもです。OB/OG会からの援助は、伴奏者の崎山裕子

さんの渡航費および宿泊費に充当しました。このツアーでは、彼女なしではバーミンガム大聖堂(Birmingham Cathedral)でのコンサート開催や晩禱奉仕はできませんでした。

加えて、今回初めて支援なしではツアーに参加できなかった数人の学生へのスカラシップを受けました。OB/OG会、その他のサポートがあり、私はともすれば参加できないかもしれなかった4人の聖歌隊メンバーに財政援助をすることができたのです。

ご覧のように、聖歌隊および私は昨年中に皆様から頂いた助力と支援に大変感謝しています。ありがとうございました！

最後に、秋の奉唱会でたくさんの方と一緒に歌えるよう願っています。

2005年度現役活動報告

- 2月(下旬) Winter Training
3月 1日 春合宿(～3/7)
(千葉・岩井海岸にて
館山聖アンデレ教会へ礼拝奉仕)
3月(中旬) 春の奉唱会練習開始
27日 イースター礼拝
- 前期活動開始**
4月(上旬) 新入生勧誘活動
23日 春の奉唱会
(Ray: Gospel Mass、Elgar: Great is
the Lord 他)
5月 4日 新歓ハイク(千葉・岩井海岸)
9日 創立記念礼拝
15日 ペンテコステ礼拝
6月 11日 Chapel Choir Concert ~Rainbow~
(池袋チャペル)
19日 阿佐ヶ谷聖ペテロ教会80周年
記念コンサート
7月 7日 崎山先生レクチャーコンサート
9日 OB・OG総会
(下旬) Summer Training
- 後期活動開始**
9月(上旬) Summer Training
6日 夏合宿(～9/12、群馬・片品村にて、
日光真光教会へ礼拝奉仕)
(中旬) レクイエム奉唱会練習開始
22日 入隊式
24日 すみだトリフォニーホールにて
コンサート
10月 22日 レクイエム奉唱会(Faure)
11月 6日 新座学園祭 IVY Festa
チャペルコンサート
28日 イルミネーション点灯式
12月 2日 ウィリアムズ主教記念礼拝
7日 メサイア演奏会
17日 Lessons & Carols
21日 キャロリング(池袋)
24日 大晩禱、キャロリング、深夜ミサ
25日 クリスマス礼拝
1月(上旬) 後期活動終了、スタッフ交代

2006年度現役活動報告と計画

- 2月 Winter Training
23日 英国教会音楽親善研修・演奏旅行
(～3/9、Wocestor、Cambridge、
Oxofrd、Birmingham)
3月(中旬) 春の奉唱会練習開始
- 前期活動開始**
4月(上旬) 新入生歓迎活動
16日 イースター礼拝
22日 春の奉唱会
5月 6日 新歓ハイク(千葉・岩井海岸にて)
6月 4日 ペンテコステ礼拝
7月 8日 Choir Festival(池袋チャペル)
(下旬) Summer Training
- 後期活動開始**
9月(上旬) Summer Training
4日 大学聖歌隊交流会
5日 夏合宿(～9/11)
(群馬・片品村にて)
(中旬) レクイエム奉唱会練習開始
21日 入隊式
24日 横浜聖アンデレ教会にて晩禱奉仕
10月 21日 レクイエム奉唱会(John Rutter)
28日 逝去者記念礼拝
12月 2日 ウィリアムズ主教記念礼拝
9日 Lessons and Carols
12日 メサイア演奏会
24日 大晩禱、キャロリング、深夜ミサ
25日 クリスマス礼拝

2006年前期現役活動報告

今年1月、私たち聖歌隊は今の11人のスタッフへと代替わりをし、2006年度の活動を開始した。多くの方々のご支援により、2月にはイギリスで2週間程の合宿を行うことができた。本場イギリスでたくさんものを見、感じ、一つのグループとして精神面技術面ともにひと回り大きくなって帰って来ることができた。4月の春の奉唱会では、合宿の成果を発揮すべく、イギリスで歌ってきた曲を中心に第一部のプログラムを組んだ。イギリスで吸収してきたことを一つでも多く達成出来たならば幸いである。また、第一部では“ Motet pour Choeur a cappella ”を初演した。これは今年の大きな特徴だったと言えるだろう。この曲は作曲家坂本日菜さんと詩人青木瑞恵さんによって私たち聖歌隊のために作られたもので、イギリス合宿前から練習を重ねていた。奉唱会当日にはお二方にもお越し頂き、演奏後には坂本さんから直接お話を伺うこともでき、とても光栄だった。この“ Motet pour Choeur a cappella ”はアンケートで最も好評を頂いた曲であり、隊員一同達成感を感じている。

4月の新歓期を経て、今年も聖歌隊に新しいメンバーが加わった。今年は男性の新メンバーが多く、これまで少なかった男声が入生あわせて15人近くにまでなった。6月11日の三位一体主日、また15日の夕の礼拝では、男声のみでアンセムを歌うなど、今年は男声のいっそうの充実を期待できそうだ。

今年は他大学の聖歌隊と交流する機会が多く、そういう面でも恵まれている。2月のイギリス合宿で、晩祷で一緒に歌わせて頂いた St. Catharine's College 聖歌隊が、7月上旬から今度は日本に演奏旅行のため滞在した。7月3日には指揮者の E.Wickham 氏によるワークショップ、8日には St. Catharine's College 聖歌隊を迎えてのクワイヤーフェスタ、9日には彼らに

よる主日奉仕そしてコンサートが池袋チャペルで行われた。彼らとの再会は大変嬉しく、また日本でイギリスの聖歌隊と交流する機会を持つことができ、大変貴重な経験だった。

他大学の交流としてもうひとつ、9月4日に青山学院大学、ルーテル学院大学、関西学院、そして立教の四大学聖歌隊が集い、大学聖歌隊交流会を行う予定だ。このような他大学との行事は近年では初めての試みであり、どんな交流会になるのか大変楽しみである。

このように、今年1月から前期にかけて、私たちは外部の方々からの多くの刺激をもって成長してきたように思う。後期もそのような刺激を存分に活かし、さらなる礼拝奉仕の充実に向け活動していきたい。

(文責：石黒 秋江)



[Birmingham Cathedralにて (Photo by 近藤英幸)]

世界言語としての音楽 ～英国教会音楽親善研修・演奏旅行を振り返って～

私たち現役隊員は、2月23日～3月9日の2週間、英国教会音楽親善研修・演奏旅行と称してイギリスへと向かいました。聖公会発祥の地であるこの地で、音楽的な向上と礼拝に対する理解を深めることが主たる目的です。28名の聖歌隊員と5名のオーガニストギルド、そして柳時京チャプレンとスコット・ショウ隊長、崎山先生の計36名が参加し、ツアーを通して大変貴重な体験をすることができました。

2月23日、私たちは期待と不安を胸に、成田国際空港に集合しました。飛行機は予定通り同日夕方にはHeathrow空港に到着し、すぐにバスでWorcester市のホテルへと移動しました。ホテルはこじんまりとしていましたが大変きれいで、長旅で疲れた身体を休めるには最適でした。

24日からはいよいよプログラムの開始です。雪がちらつく中、私たちはWorcester市を観光しながらCathedralへと向かいました。Cathedralでは見学をするだけでなく、Cathedral内のChapter Houseなどで歌わせてもらうことができ、普段私たちが歌っているチャペルとは異なる音響を体験しました。また、E. Elgarの使用した指

揮棒などが保管されている図書館も見学することができました。午後にはSt. George's Catholic Churchへ移動し、次の日のコンサートに向けて、リハーサルを行いました。

25日、朝からWorcester市の市長を表敬訪問し、Guildhallの見学をさせていただきました。偶然私たちがいたときに、歴史的なFestivalのようなものが開催され、昔の衣装を着たWorcesterの市民たちが私たちをあたたかく歓迎してくれました。そしてとうとうコンサート。私たちは緊張しつつもベストを尽くしました。コンサートを開催したSt. George's Catholic ChurchはE. Elgar縁の教会だったこともあり、彼の曲も数曲歌いました。これはWorcester市の方々に大好評でした。私たちもイギリスに来て最初の大きな企画を無事終了し、ほっとしたことは言うまでもありません。



[コンサート後、St. George's Catholic Church にて (Photo by 近藤英幸)]

26日、27日は Worcester や Hereford の Cathedral の礼拝に出て実際に現地で奉仕している聖歌隊の歌声を堪能したり、Elgar の生地を巡ったりと、様々な企画が目白押しでした。

その後28日には名残を惜しみつつも Cambridge へ移動しました。途中 Ely Cathedral へ寄り、残響7秒という Lady Chapel を見学し、その余韻にひたりながら夜の Cambridge に到着しました。その後すぐ、大変有名な King's College や St. John's College の晩禱に出席し、伝統ある聖歌隊の澄んだ歌声にしばし耳を傾けました。驚いたことに、私たちが今回のツアー中晩禱奉仕をするために用意した W. Byrd の Preces & Responses が奉唱され、それによってかなり刺激を受けました。

3月1日は Ash Wednesday (灰の水曜日) です。この日はあちこちのチャペルで特別晩禱が行われ、私たちがそのはしごをすることにしていました。しかし忘れてはならない、もうひとつのメインイベントが、午前中に行われる Dr. Wickham によるレッスンです。Dr. Wickham は St. Catharine's College Choir の指導者で、私たちは次の日にその Choir と合同で晩禱奉仕をするこ

とになっていました。実際に St. Catharine's の Chapel を使用し、O. Gibbons の O clap your hands や R. White の Christe, qui lux を指導していただきました。歌い方だけでなく、母音の発音や呼吸法など細かいところまで指導していただき、本場の Choir がどのように育てられていくのかを垣間見た気がしました。

2日の夕方は、予定通り St. Catharine's College Choir との晩禱奉仕。初めて顔を合わせた両聖歌隊は、しかし歌いだした瞬間心を合わせて短いハーサルにもかかわらず曲を一緒に作ることに専念しました。晩禱自体は無事に終了し、彼らと共に Dining room で食事を摂りました。まるでハリポッターの世界に迷い込んだかのような荘厳な Dining room に圧倒される私たちでしたが、すぐに Catharine's の生徒たちと打ち解けて話をすることができました。日本の聖歌隊はどういう歌を歌うのか、どういう練習をするのか、などという音楽の話は当然のことながら、日本の流行やスポーツの話、専攻科目の話など、どんどん会話は膨らんでいき、帰る時間にはあちこちで別れを惜しむ声が聞こえていました。私たちはまた7月に日本で再会することを楽しみに、St. Catharine's College を後にしました。



[Cambridge St. Catharine's Collegeにて Dr. Wickham によるレッスン風景 (Photo by 近藤英幸)]

3日にはオルガニストはLeicesterへ、そして私たち聖歌隊はOxfordへ向かいました。今度はOxfordのKeble Collegeを訪れ、ここでの晩祷奉仕のためのリハーサルを行いました。建設当時ではめずらしいレンガ造りのチャペルは大変響きが良く、聖歌隊席の左右がかなり遠かったにもかかわらず、お互いの声がよく聞こえました。晩祷は詩篇やChriste, qui lux、加えてTomkinsのMagnificat & Nunc dimittis(Second service)を奉唱しました。Oxfordの方にも大変評判がよく、私たちも大きなミスもなく終えることができ、またひとつ成長した気がしました。晩祷後、Keble CollegeのDining roomへ招待され食事をした後、Organ Scholarの学生に連れられて学内のバーに行きました。立教にはバーがないのか、と驚かれたり、一緒にバーに来た何人かのKeble Choirの学生と一緒に歌いだしたりと、Cambridgeとはまた違った交流をしました。

その後の4日、5日はChrist Churchを中心にOxfordのいろんなチャペルを回ったり、観光をしたりと、各自楽しみました。

6日、今度はBirminghamに移動です。この日も移動した後すぐにBirmingham Cathedralでの晩祷奉仕が控えていました。ここでもつつがなく奉仕を終え、私たちはようやく大きなプログラムを終了させることができました。

7日、8日はBirmingham Cathedralの見学、Stratford upon AvonやBirmingham Art Museumに各自訪れ、観光を楽しんだり、それぞれお土産を購入したりと、思い思いにツアーの最後を楽しみました。8日の夜には日本食レストランにて打ち上げを行い、すべてが無事に終わったことを皆で喜びました。

9日、全ての日程を滞りなく終えた私たちは空港へ向かい、名残を惜しみながらイギリスの地を離れました。



[Oxford Keble Collegeにて (Photo by 近藤英幸)]

今回のツアー中晩禱奉仕をしたところでは、詩篇を日本語で奉唱しました。英語圏の国で日本語の詩篇を歌うことには不安がありました。少しでも詩篇の内容が伝わるようにするにはどうすればいいか。強弱やイントネーションだけでは伝えられません。そのため私たちは歌詞を読み込み、何度も練習を重ねました。

結果、奉仕先だった Oxford のオルガニストに「詩篇が最もすばらしかった」という言葉をいただきました。これによって、たとえ言語の違う地域であっても、音楽をとおして言葉は伝わっていくのだ、と再認識させられました。

この経験は私たちに大きな変化をもたらしました。日本に帰ってきてからも、「言葉を大切にする」というイギリスで学んだことを何度も反芻し、実際に詩篇やミサ曲は言葉に注意して練習するようになりました。それによって私たちは、当初の目的どおり音楽的技術の向上だけではなく精神的にも成長したといえるでしょう。

このツアーのために、昨年は Rainbow Concert を開催したり、OB・OG会からたくさんの援助をいただき、大変感謝しています。金銭面だけではなく、激励の言葉を下さった方もたくさんいらっしゃいます。OB・OG会や先生方の協力がなければ、今回のツアーは実現しなかったことでしょう。この場を借りて、深く御礼申し上げます。

2006年英国合宿実行委員会委員長
郡司 絵麻

OB.OG会会計報告(2005年度)

役員会会計担当

〔収入の部〕

(1) 2005年度の年会費、賛助金は、2006年3月31日までに

年会費	139名	139,000円
賛助金	66名	270,000円
合計		409,000円

のご協力、お振込みをいただきました。まことに有難うございました。

(2) 年会費と賛助金のご協力者のご芳名は、別掲のとおりです。

〔支出の部〕

(1) 2005年秋のレクイエム奉唱会では、オーケストラ・エキストラの謝礼として、85,000円の援助いたしました。

(2) 2006年2月の英国合宿では、伴奏オーガニスト崎山先生及び学生の旅費として300,000円の援助をいたしました。

次回の英国合宿は、3年後となります。

(3) 2005年7月総会・懇親会および会報発行の文具通信費、2005年秋のレクイエム奉唱会と2006年春の奉唱会の通信費として313,695円かかりました。

(4) 総会および現役との懇親会に現役を招待しましたが、当日の総会・懇親会会費だけでは足りず、63,150円の補助をいたしました。また、当日のチャペルへの献金とオーガニストへの謝礼として各々10,000円支出いたしました。

OB.OGの方々の一人でも多くの参加があれば、総会・懇親会補助を少なくできます。

(5) ブランスタッド元聖歌隊長の小平墓地管理費として、年額1,000円を支出しております。

〔会費納入と賛助金ご協力のお願い〕

(1) 2006年度は、秋のレクイエム奉唱会にジョン・ラッターの作品の奉唱を予定しています。オーケストラエキストラ謝礼など、昨年度と同程度の援助が必要となります。

(2) 総会および懇親会のご案内、春と秋の奉唱会

のご案内、会報の発行などを含めると、文具通信費に年額概算30万円程度必要となります。
(3) できるだけ多くの会員の方々に、会の運営費としての年会費(1,000円)の納入をお願いするとともに、現役への援助金として賛助金(1口5,000円)のご協力をたまわりたいと存じます。

(2006年3月31日現在)

〔収入の部〕	
前年度の繰越金	547,765円
年会費	139,000円
賛助金	270,000円
合計	956,765円
〔支出の部〕	
奉唱会の援助金	85,000円
英国合宿援助	300,000円
文具通信費	313,695円
総会懇親会援助	63,150円
献金・謝礼	20,000円
墓地管理費	1,000円
次年度への繰越	173,920円
合計	956,765円

賛助金協力者ご芳名(2005年度)

(敬称略)

〔名誉会員〕

スコット・ショウ 松平頼暁 猿田潤子

(3名)

〔1949-50年代〕

佐々木弘道 工藤俊雄 石川善樹
小川總一郎 下田昇 安永和夫 平野修
古谷俊次 細田榮一 糟谷祐子 佐藤悦子
寺本睦夫 辺見孝昌 松野裕子 石川範子
今井和道 今井佐禰子 笹部久美子 内藤博子
野田敏子 樋口洋子 小川春乃 杉野一郎

(23名)

〔1960年代〕

成田弘子 加藤清二 鎗木哲三 杉山榮一
杉山百合子 橋本圭子 増田多佳子 山田弘美
芦沢順 栗岩和彦 谷市三 西章
伊藤三千子

(13名)

〔1970年代〕

青山尚徳 青山博子 大西信一 大西礼子
山田正子 荒牧節子 徳武希美枝 徳住光則
志村純一 掛川祐司 阿部智子 長田睦子
佐々義子 鈴木雅美 (14名)

〔1980年代〕

齊藤敦子 志田裕美 広瀬幹郎 末広禎一郎
末広里夏 須田実花 (6名)

〔1990年代〕

三井美樹 向山博美 汲原宏枝 高橋由佳
矢内祐介 森山弦人 森山友恵 (7名)
合計 66名 270,000円

年会費納入者ご芳名(2005年度)

(敬称略)

〔1949-50年代〕

佐々木弘道 工藤俊雄 石川善樹 今井丞治
鴻輝夫 小川總一郎 下田昇 安永和美夫
平野修 古谷俊次 細田榮一 新崎春子
糟谷祐子 佐藤悦子 寺本睦夫 辺見孝昌
松野裕子 石川範子 今井和道 今井佐禰子
笹部久美子 関武矩 関本実 内藤博子
野田敏子 樋口洋子 青木瑞恵 小川春乃
坂本敬 佐藤満寿哉 杉野一郎 (31名)

〔1960年代〕

小野翠 中川直美 成田弘子 保谷政孝
矢部勲弘 大沢祐二 加藤清二 鍋木哲三
河合玲子 杉山榮一 杉山百合子 壇上仁江
鳥井祥子 福代亮三 橋本圭子 長谷川淳子
増田多佳子 山田弘美 山田弘美(06年)
芦澤順 栗岩和彦 高木邦子 高橋委作
高橋芙木 滝口俊子 谷市三 天野克彦
天野恵子 斎藤潤子 宮谷祥子 宮谷仁太郎
利根川安子 西 章 岩川武彦 大塚万紀子
菊地滋子 鶴岡道子 伊藤三千子 内田研吾
(39名)

〔1970年代〕

相沢牧人 青山尚徳 青山博子 植野さなえ
植野幸和 大西信一 大西礼子 山田正子
荒牧節子 徳武希美枝 増井真理子 吉田久美
加藤博道 河野純子 近藤みち子 須藤恵子
徳住光則 榎本ひろ美 梶ヶ谷淑子 桐迫馨代

志村純一 掛川祐司 阿部智子 長田睦子
湯浅宣子 佐々義子 鈴木雅美 安田裕子
(28名)

〔1980年代〕

齊藤敦子 高島なお子 藤岡比佐志
北政扶美子 志田裕美 広瀬幹郎 那須待子
那須輝彦 細谷厚子 渡辺順子 須田実花
末広禎一郎 末広里夏 小野信明 内田幸子
(15名)

〔1990年代〕

三井美樹 善木洋子 汲原宏枝 向山博美
大野菜穂子 大野恭義 高橋由佳 横田麻子
武藤早苗 稲垣智子 遠山朋美 長塚望
山本純子 矢内祐介 森山弦人 森山友恵
(16名)

〔2000年代〕

平瀬寿美 千野恵 小暮詩帆 飯塚幹子
矢嶋大輔 一戸祐子 遠藤陽平 岡田俊介
小宮山洋之 矢島優里 (10名)
合計 139名 139,000円

住所変更のお知らせをお忘れなく!

役員会名簿管理担当

『立教聖歌隊0B・0G会名簿』の充実・更新のため、転居などの場合は、下記名簿管理担当あて、お知らせください。

聖歌隊0G・0G会ではコミュニケーション充実のため『会報』を発行し、郵送にて諸兄弟のお手許にお届けします。

現役からも、秋・春の奉唱会のご案内などが『立教聖歌隊0B・0G会名簿』をもとに郵送にて行われています。

名簿管理担当：植野 幸和

電話 & F A X : 03(3331)1721

〒168-0081

杉並区宮前2-30-22 ウィンダム宮前107



[3 / 1 8 (土) チャペル音楽 3 団体合同卒業コンサートにて]

上段左から：井上公人 (T) 増田裕行 (B) 山木肖嗣 (B)
中段左から：宮本留衣 (S) 永野有紀子 (S) 山崎寛子 (A) 矢作理恵 (A) 小美戸亜希 (A)
下段左から：工藤圭 (S) 渡辺麻美 (S) 石川珠加 (A) 大森文恵 (A) 元田紗代子 (A)

2006年卒業 OB・OG会新会員紹介

井上公人、社会学部産業関係学科卒。現在、立大の社会学研究科で、今話題の格差社会について研究をしながら、聖歌隊に顔を(口も?)出しています。本籍はテナーですが、この春よりアルトに出向中。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

増田裕行、文学部キリスト教学科卒。今後とも、よろしくお願い致します。

文学部キリスト教学科を卒業しました山木肖嗣です。現在は、沖縄県で中学校教師として働いています。勤務地の都合でOB・OG総会などには出られませんが、何卒よろしくお願い致します。

3月に文学部英米文学科を卒業しました宮本留衣です。OB・OGの皆様には在学中、大変お世話になりました。今自分がOGの立場になった事はまだイメージがわかりませんが、聖歌隊にいて感じた歌が好きという気持ちを忘れずにいたいと思っております。

3月に文学部史学科を卒業しました永野有紀子と申します。04年スタッフで学生指揮者を務めさせて頂きました。現在は声楽のレッスンを受ける傍ら、教職の資格を取るべく勉強しております。今後ともどうぞご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

06年理学部化学科卒の山崎寛子です。2年前、奉唱会マネージャーをやっていました。懐かしいです。初めましての方も、お久しぶりの方も、これからはOGとして未長くよろしく願います。

06年3月に社会学部産業関係学科を卒業しました矢作理恵と申します。スタッフ時には礼拝庶務を務めていました。この春から都内の会社に勤めています。仕事に慣れてきたら奉唱会にも参加していきたいと思ひます、よろしく願います。

皆様、在学中は大変お世話になりました。法学科を卒業し4月より仕事を始めました。入社早々、資格試験の勉強に追われていますが、聖歌隊と同様に人との出会いや環境に恵まれ大変充実した毎日を過ごしております。今後も変わらぬお付き合いをさせて頂けたらと思ひます。どうぞ宜しく願ひいたします。 小美戸亜希

今年の春に文学部史学科を卒業しました、工藤圭と申します。3年次には文書とパートリーダーを務めました。現在はさほど大きくはないメーカーの営業アシスタントとして働いています。時には失敗してお客様に怒られたりもしますが、毎日学びながら周囲の方々に支えられ働く日々です。これからもよろしく願ひいたします。

経済学部経営学科卒業の渡辺麻美です。スタッフ時には代表を務めさせて頂きました。現在は資格試験に向け勉強を続けております。今後どうぞ宜しく願ひいたします。

06年法学部国際・比較法学科卒の石川珠加です。スタッフではライブラリアンを務めさせて頂きました。社会人になり、現在IT企業のコンサルティング部に配属となりました。出張は多いのですが、歌わないと体がおかしくなってしまうくらい歌が好きなので、奉唱会やボランティアアクワイヤーなどにはなるべく顔を出したいと思っております。

現役時代、OB・OGの方々からたくさんのご支援を頂いた分、これから私も微力ながら現役学生の支援をしていけたらと思ひます。今後共、よろしく願ひ申し上げます。

コミュニティ福祉学部コミュニティ福祉学科卒業の大森文恵と申します。スタッフでは財務と新座マネージャーを務めました。四月から大宮にあります赤十字病院の相談室で働き始めました。早く一人前のソーシャルワーカーになれるよう、日々勉強しております。

文学部史学科卒の元田紗代子と申します。現役の時、代表委員とアルトのパートリーダーを務めさせて頂きました。現在は、日本橋三越の隣で働いています。また奉唱会などに参加したいと存じておりますので、よろしく願ひいたします。

OB・OGのメッセージ 2006年度

総会及び懇親会の出欠葉書に寄せられた
消息をご紹介いたします。

多数のメッセージが寄せられましたので、
定型の挨拶は割愛させて頂きました。

〔名誉会員〕

矢澤 信夫 チャプレン

感謝をもって、年齢相応に過ごしています。

遠山 隆夫 チャプレン

80才を越え、外出も思いのままになりません
ので、失礼させていただきます。

飯田 徳昭 チャプレン

聖歌隊の演奏会・奉唱会を、毎回、楽しみにし
ております。

村岡 明 チャプレン

土、日曜は忙しくて参加できません。御容赦く
ださい。また、当ショウ記念礼拝堂も、活動のため
御利用くだされば、幸いです。

竹内 弘 チャプレン

聖歌隊が過去に所有していた楽譜類その他の図
書等は、整理されてそのリスト等をPCなどから
見ることが出来るのでしょうか？ なかったら、
是非、作成していただくと良いのですが。

また、過去のコンサートなどの曲目も、演奏会
で録音したものをダウンロードして聴けるよう
になると、もっと良いのですが。

なにしろ田舎に住んでいますので……。

柳 時京 チャプレン

7月15日は、全国大学チャプレン会に参加す
るため、欠席させていただきます。

同じ時間に、立教の校内にいるにもかかわらず、
皆さんとお会いできないことは、とても残念です。

80年を越える立教Choirの歴史に残る、有意義
なお集まりになることを望みつつ、心からお祈り
申し上げます。

〔一般会員〕

小川 總一郎 (B 1952文社)

1月26日、脳梗塞で倒れ、聖歌隊OB・OG活動
を一切辞めます。会長の名前も消してください。
失礼します。再起不能です。

下田 昇 (1952経済)

家内が入院しており、いろいろあり、人生の波
風は、自身は元気でも、厳しいです。

安永 和夫 (B 1952文英)

昨年来、体調をくずして、あらゆる会合に出席
できなくなりました。

小笠原 汎 (T 1956文英)

「ありがとうプランスタッド先生」の本137頁
(水兵の項)に名前があり、かろうじて隊員で
あったことを認識しております。

寺本 睦夫 (B 1957文基)

定年退職後、日々、悠々自適の生活ですが、地
元の合唱団にて歌うことを楽しんでおります。

松野 裕子(遠藤) (A 1957文英)

カンブラ、モーツァルト、フォーレのレクイエ
ムを毎年秋に、そして、この春4月22日の奉唱会
も聴かせて頂きました。

今秋のジョン・ラッターのレクイエムも、再び
チャペルで聴きたいと念願しております。

今井 和道 (O 1958文英)

OB・OG会が繁栄しますように！

継続は大変なことです。役員の皆さまのお骨折
りを感謝いたします。

青木 瑞恵(竹之内) (A 1959文英)

春の奉唱会にお誘い頂き、ありがとうございます
ました。学生時代を思い出し、懐かしゅうございま
した。また、お世話になります。よろしくお願
い致します。

杉野 一郎 (T 1959経済)

リハビリに頑張っております。

小野 翠（穂積）（S 1960文心）

教会・教区の仕事も、だんだん免除して頂き、地域でのお手伝いくらいをさせて頂いています。

利光 弘子（金児）（1961文基）

以前から足を痛めていて、学校まで行くことができません。

福代 亮三（B 1961経済）

エリザベス・サンダース・ホームに勤務しています。2008年に迎える創立60周年を記念して、施設の改築をすることになりました。

皆様の物心両面のご支援をお願いします。

谷 市三（1963経営）

5月30日～6月8日迄、英国レスター教区80周年記念式典に参加のため渡英致します。日英交流委員のグレゴリーさんともお会いする予定です。グレゴリーさんたちは、昨年10月来日の際、富山の教会で聖歌隊奉仕くださいました。

西宇 明男（1963法法）

タイ（チェンマイ）にロングステイして、約2年になります。

小笹 絢（南部）（S 1956文英）

夫婦で教会音楽を30年近く歌っています。

今度、もう一つの合唱団に入り、来春「口短調ミサ」を歌う予定です。若い素敵なカウンター・テナーに教えていただき、こちらの気持ちも若くなって、毎回ワクワクします。

菊地 滋子（松本）（A 1967文史）

介護中ですので、欠席させていただきます。

黒崎 千束（稲垣）（S 1969文日）

歳のせいかな、このところ腰を痛め、コルセットをしている状態です。

相沢 牧人（B 1970文史）

牧師、管理牧師、幼稚園長などの多重の任務を任せられ、多用ではない、多忙な日々となっています。加齢と共に回復力が減じている日々です。

与えられた役割を楽しみつつ、励んでいる日々です。

青山 尚徳（T 1970理物）

青山 博子（平林）（A 1970文英）

八王子復活教会は、4月より管理牧師体制になりました。そのようなこともあり、週報作りなどのため、金、土はほとんど教会、もちろん日曜日もですが……。

山田 正子（S 1970文心）

楽しみに参加させていただきます！！

荒牧 節子（S 1971文英）

相変わらずです。定年まで勤めるかどうか、迷うこの頃です。

徳武 希美枝（S 1972文英）

84才の母が、呼吸器をつけて退院することとなり、介護生活もしばらく続きそうです。

増井 真理子（室井）（S 1972文日）

合併のため住所が北海道岩見沢市になりました。ようやく新緑の季節、たんぼぼからライラックまで、いっしょに咲いています。美しい季節です。皆さま、お元気で！！

竹内 新一（T 1973文独）

元気です。

高木 慎二（B 1974経済）

当日の夜、勤務校地区の防災訓練の会合及び夏祭りの見回りがあり、参加が難しい状況です。

晩祷だけでもと考えていますが、時間的にどうかです。

教育界の状況は、ますます厳しさを増しています。昔ながらの（良さ悪さ両面ありますが）共同体の再構築は不可能ですが、役員の皆さま、毎年のご苦勞ありがとうございます。

梶ヶ谷 淑子（山本）（S 1975文英）

仕事で忙しい日々を送っていますが、元気にしています。

阿部 智子 (三保谷) (A 1977文史)

クワイヤーとオーガニストと両方に所属して
ましたので、今も両方の会に出席しています。本
格的に音楽の勉強をしたい…….といつも思います。
特に Organ !!

佐々 義子 (斎藤) (A 1978理物)

目白聖公会で、月1回、礼拝に参加させて頂い
ています。慌ただしい日々の中で、学ぶことの多
いひとりで、感謝しております。

鈴木 雅美 (西成) (A 1979文日)

多忙ながらも、元気に、上機嫌で生きてます。
最近ブルックナーのモテット集のCDをよく聴い
ています。音楽のよろこびは無限ですね。もしか
したら、晩祷だけ、うかがうかもかもしれません。

田澤 利之 (B 1979法法)

当日、湘南地方の教会の夏期キャンプ準備会が
あり、司牧する鎌倉聖ミカエル教会が幹事教会の
ため、失礼させていただきます。

小生、何とか元気にやっております。

安田 裕子 (南村) (S 1979文英)

25年ぶりに仕事をしています。職場での新た
な出会いが嬉しいです。また皆様にお会いできる
日を楽しみにしております。

志村 実千代 (A 1983文英)

Cambridge University St. Catharine's College
Chapel Choir の皆様によるしく。

湯田 勝彦 (T 1987文英)

役員を拝命しておきながら、仕事を何もせず、
大変申し訳ありません。

窪田 恵理子 (A 1991文基)

子どもが小さいのと、土曜日、仕事の時があり
ますので、申し訳ないのですが、欠席いたします。

伊藤 誠基 (T 1992文独)

昨年は出席させていただき、大変有意義な集い
でした。しかしその後、眼の病気など、持病の治

療のため、残念ながら今回は遠慮させていただきます。
今は、カトリック教会の信者です。

汲原 宏枝 (石井) (A 1992経済)

4才&1才の息子たちの世話に追われ、美しい
音楽に触れる機会も、まずない毎日です。

年に1回のOB・OG会礼拝ですが、歌えるしか
も多勢のメンバーによる礼拝の迫力に、昨年心底
感動しましたので、今年も、とても楽しみにして
おります。

飯島 陽子 (和田) (S 1993文仏)

遠方におり、子供たちも小さいので、なかなか
参加できずにいます。

森山 弦人 (小林) (B 1999社観)

森山 友恵 (S 1999文英)

友恵の出産予定時期と重なっておりまして、今
年も残念ながら参加できません。

加藤 智宏 (B 2000社社)

5月21日に立教チャペルにて結婚いたしました。
今は、慈恵第三病院にて、研修医のマネジメント
の仕事をしています。

三野 穂高 (T 2001経営)

今年2月、オーストラリアより帰国しました。

小暮 詩帆 (S 2002文英)

旅行に行くので参加できませんが、聖歌隊のコ
ンサートや奉唱会がまたあれば、是非、行きたい
と思います。特に変化はありませんが、元気にや
っております。

沖田 直哉 (B 2004文基)

2月に転職して以来、また動き回りの毎日。
来年に身を固めるのが目標です。

遠藤 陽平 (T 2005経営)

お世話になりました。9月から、アメリカの
Pacific Lutheran University に、オルガンの勉強を
しに行きます。

小宮山 洋之 (T 2005社産)

今年の4月より、明治大学の大学院で、会計を学んでおります。ハードな日々ですが、何とか元気に過ごしております。

以下の方々からも盛会を祈る旨のメッセージをいただきました。文面は省略してご紹介します。

崎山 裕子 前隊長
猿田 潤子 隊長夫人
大郷 博 チャプレン
広田 勝一 チャプレン
今井 丞治 (1951文英)
大沢 祐二 (1961経済)
渡辺 信子 (S 1961文心)
橋本 圭子(今村) (A 1962文心)
長谷川 淳子(岡) (S 1962文心)
高木 邦子(和気) (S 1963社社)
高橋 委作 (1963文心)
高橋 芙木(稲垣) (1963文史)
大塚 万紀子(黒部) (A 1966文英)
伊藤 三千子(黒田) (A 1969文英)
大西 礼子(小笠原) (S 1970文史)
山田 正子 (S 1970文心)
近藤 みち子(矢崎) (S 1973文史)
伊藤 正人 (B 1974文仏)
伊藤 弥寿世(若林) (S 1976文仏)
中尾 志朗 (B 1978文基)
谷井 浩 (B 1979法法)
谷井 悦子(川口) (S 1980文日)
小島 真理子(坂内) (A 1981社社)
紅林 東史子(田口) (S 1986文史)
真下 美穂 (A 1991経営)
山本 裕子 (A 1995文史)
古谷 秀子 (A 1998文基)
田所 愛 (A 1999経済)
飯塚 幹子 (S 2003法比)

本会報では、OB・OGの皆様のお伝えしてゆきたいと考えております。

結婚・出産・転勤・転居など、お差し支えなければ、OB・OG会事務局までお知らせ下さい。会報に掲載致します。

特に慶弔事とはかかわりなく近況を伝えるメッセージも良いと思います。どうぞ奮ってお寄せ下さい。

校宅5号館お別れパーティへのお誘い

何年か前より5号館が解体されると言われてきましたが
今秋には、いよいよ取り壊しになるようです。

そこで、最後のお別れパーティを開催いたしたく、
聖歌隊長ショウ先生の快諾を頂き、一日オープンハウス
として好きな時間に集まり、歌ったり、演奏したりする
時をもちたいと思います。

まだ、日時は決まりませんが、秋の土曜日が良いのでは
と考えております。

改めて皆様にご連絡いたしますので、お誘い合わせ
ご参加ください。

立教大学諸聖徒礼拝堂聖歌隊OB・OG会会報
第三号

発行日 / 2006年7月15日

発行元 /

立教大学諸聖徒礼拝堂聖歌隊OB・OG会事務局

〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1

立教大学6号館6320

スコット・ショウ研究室